

令和8年度大豆生育定期調査結果 No.1 (北上市 7月2日現在)

岩手県農業研究センター 生産基盤研究部 水田利用研究室 (TEL:0197-68-4412、FAX:0197-71-1081)

1 生育概況 (表1、図1)

(1) 出芽

6月2日に播種したリュウホウ及びシュウリュウの出芽日数(播種から出芽期までの日数)は、気温が低かったため平年より6日遅くなった。また、6月15日に播種したリュウホウの出芽日数は、降水量が少なかったため平年より2日遅くなった。

(2) 生育

播種後のリュウホウ及びシュウリュウの生育は、第2半旬及び第5半旬の低温の影響により平年と比較し生育量が少ない。

両品種とも、主茎長が短く(-3.1~-2.5cm)、主茎節数も少なく(-2~-1.5節)、地上部乾物重は平年比85~78%と平年を下回っている。

表1 生育調査結果 (7月2日現在)

品種	年次	出芽 日数 (日)	草丈 (cm)	主茎長 (cm)	主茎節数 (節)	地上部 乾物重 (g/m ²)
リュウホウ (6/2播種)	R8年	13	20.6	9.2	4.0	13.5
	平年	7	27.2	12.3	6.0	15.8
	平年差・比	6	-6.6	-3.1	-2	85%
	前年	7	32.0	16.3	6.8	23.2
シュウリュウ (6/2播種)	R8年	13	22.7	9.9	4.3	14.6
	平年	7	29.9	12.4	5.8	18.8
	平年差・比	6	-7.2	-2.5	-1.5	78%
	前年	7	34.3	16.0	6.5	26.1
(参考) リュウホウ (6/15播種)	R8年	9	-	-	-	-
	平年	7	-	-	-	-
	平年差・比	2	-	-	-	-
	前年	6	-	-	-	-

※1:「平年」は令和3~7年の平均値。

※2:リュウホウ(6月15日播種)の平年は令和6年と7年の平均。

2 気象経過（6月第1半旬～第6半旬；図2）

気温は第2半旬及び第5半旬が平年より低く、降水量は第2半旬及び第5半旬以外は、平年より少なく経過した。

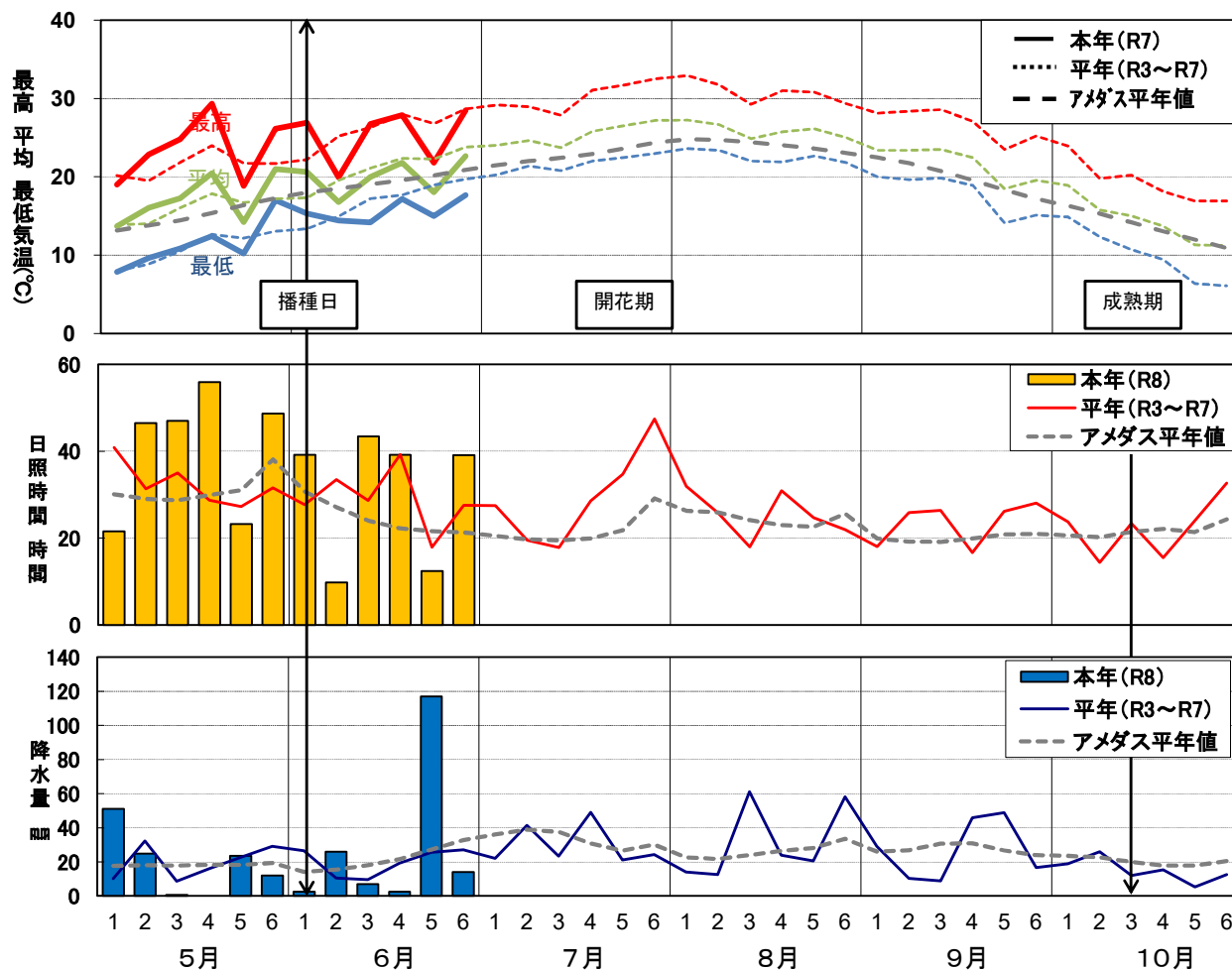


図2 気象経過図（アメダス北上）

※1：「平年」は令和3～7年の5か年の平均値。

※2：「アメダス平年値」は気象庁公表の平成3年～令和2年の30年平均。

3 耕種概要

- (1) 調査場所：農業研究センターほ場（北上市成田、標高90m、淡色多湿黒ボク土（水田転換1年目））
- (2) 播種日： 6月2日（リュウホウ及びシュウリュウ）、6月15日（リュウホウのみ）
- (3) 栽植密度 6月2日播種：9.5株/m²（畦間70cm、株間15cm、1株1本仕立て）
6月15日播種：14.3株/m²（畦間70cm、株間10cm、1株1本仕立て）
- (4) 施肥量 (kg/10a)：N 4、P₂O₅ 12、K₂O 10、牛糞堆肥1t/10a
- (5) 土壌処理剤：ラクサー乳剤 800mL/10a（播種後出芽前）
- (6) 病虫害防除：クルーザーMAXX 8mL/乾燥種子1kg（播種前塗沫処理）